授　業　概　要

授業のタイトル（科目名）	授業の種類	授業担当者
生活支援技術Ⅰ	（講義・演習・実習）※演習に丸印	岡村展郎（実務経験者）

授業の回数	時間数(単位数)	配当学年・時期	必修・選択
３０回	６０ 時間（４）	1年　前期	必修

[授業の目的・ねらい]

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。

[授業全体の内容の概要]

座学中心に、言葉遣いや、日本語を理解することによって、外国人や、理解力や読解力の乏しい学生に対しての基礎的能力を上げていくことを目指します。

[授業修了時の達成課題（到達目標）]

１段階の実習をスムーズに行うことができるとともに、他の授業とリンクさせながら３つの領域を全体でとらえることができる。介護者の尊厳を大切にした態度を持つことができる。

[授業のテーマ・内容]

1	オリエンテーション アセスメントとは	16	車いす介助１
2	ICFとアセスメント	17	〃
3	生活支援の理解環境整備、ベットメーキング等	18	〃
4	ベッドメーキング	19	〃
5	〃	20	〃
6	〃	21	移動・移乗の福祉用具
7	〃	22	スライデングマット・スライデングボード
8	ボディメカニクス・体位と体位変換	23	移動用リフト等
9	自立に向けた移動の介護１移動の意義目的	24	〃
10	〃　２アセスメント	25	歩行介助（杖・階段）
11	自立に向けた移動・移乗の介護技術	26	歩行介助（歩行器）
12	体位変換１	27	歩行介助（歩行補助杖）
13	安楽な体位　褥瘡の予防	28	歩行介助（視覚障害者・階段）
14	体位変換２（エアマット・クッション等）	29	移動の介護における多職種との協働
15	安楽な体位・自立度別介護の視点	30	まとめと試験

[使用テキスト・参考文献]	[単位認定の方法及び基準]
最新介護福祉士養成講座　中央法規 生活支援技術Ⅰ～Ⅲ	（試験やレポートの評価基準など） 試験80％出席10％レポート10％